

熊本商工会議所
2011年経済予測アンケート
結果報告書

KEY WORD

- ★ 景気の現状…「やや悪化」が37%でトップ
次いで「変わらない」が26%
- ★ 景気の回復予測…「わからない」が55%とトップ、
次いで「2年後（2012年）から」が12%、
そして「来年（2011年）下期から」が11%
- ★ 産業別予測…「やや悪化」－「建設業」「製造業」「卸売・小売業」
「変わらない」－「運輸・通信業」「飲食業」「金融・
保険業」「サービス業」
～悪化予測が上回るも、好転の割合も増加～
- ★ 円相場は「円安」と「円高」で予測は二分
- ★ 株相場は「やや株高」を予測
- ★ 金利は「変化なし」を予測
- ★ 経営上の問題点は「受注、販売競争の激化」が53%でトップ
- ★ 経営の重視点は「収益」と「売上高」重視の傾向が続く
- ★ 九州新幹線全線開業に伴う経済効果は「ややプラス」を予測

熊本商工会議所

2010年12月

＜本調査のお問い合わせ＞
熊本商工会議所 会員サービス部 情報調査課
TEL354-6688 FAX354-8890

熊本商工会議所
2011年経済予測アンケート

I N D E X

1. 調査概要	1
2. 景気	2
3. 産業別予測	4
4. 円市場	11
5. 株式市場	12
6. 金利	13
7. 経営の問題点	14
8. 経営の重視度	15
9. 九州新幹線全線開業	23

※ 巻末…「2011年経済予測アンケート」調査用紙

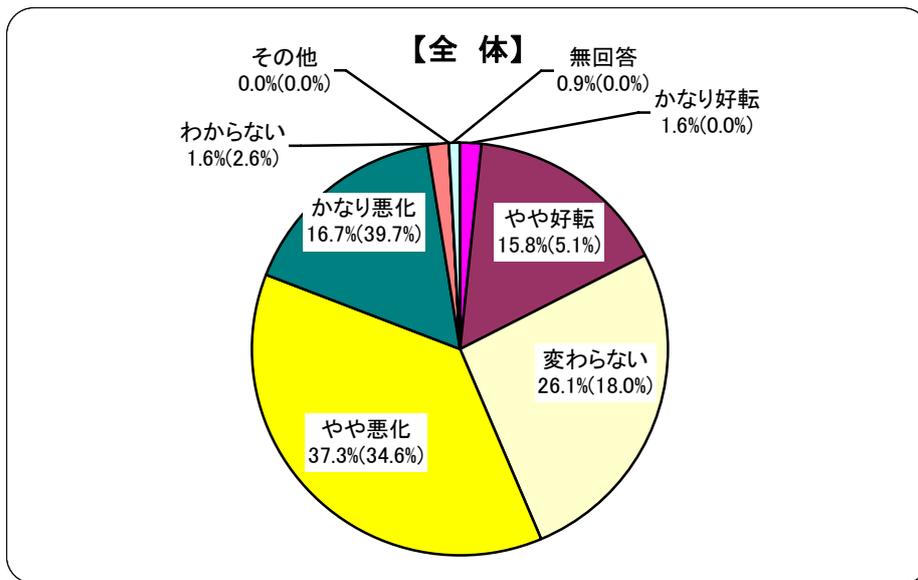
調 査 概 要

1. 調査期間 平成22年11月15日(月)～11月21日(日)
2. 対象者 熊本商工会議所 役員並びに議員 101企業・団体 102名
熊本商工会議所 経営動向調査モニター企業 400企業 400名
(経営動向調査モニター企業は、小規模企業であるため報告書に
おいては小規模企業と標記する)
※今回から熊本商工会議所経営動向調査モニター企業400社を追加
3. 配布数 502名(501企業・団体)
4. 調査方法 調査用紙配布:郵送 調査票回収:FAX
5. 回答者数 322名(有効回答率64.1%)
6. 調査機関 熊本商工会議所

2010年11月 景気の現状

※グラフ内の()については、前年数値です。

「やや悪化」37.3%、「変わらない」26.1%



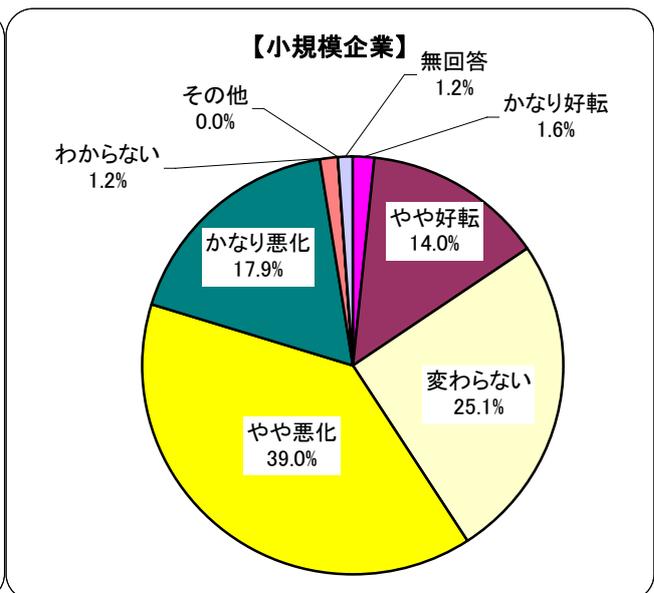
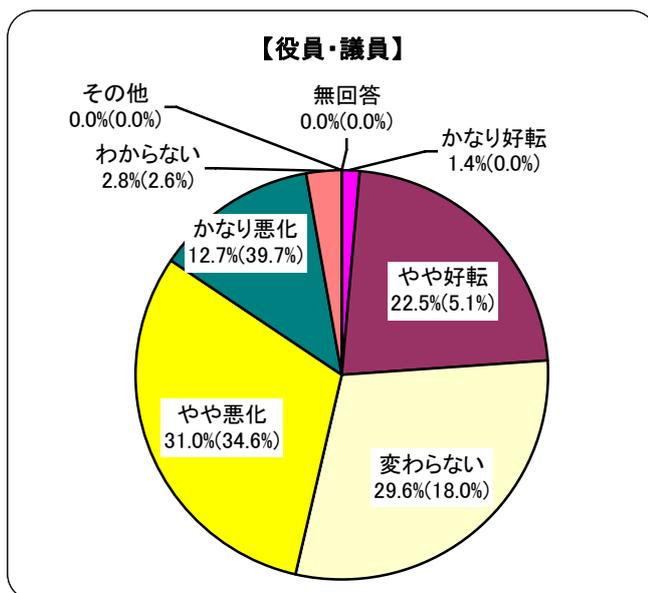
景気の現状(2010年11月中旬)については、前年に比べ「やや悪化」が37.3%(対前年比2.7ポイント増)でトップ、次いで「変わらない」が26.1%(対前年比8.1ポイント増)、そして「かなり悪化」が16.7%(対前年比23.0ポイント減)となった。

「かなり悪化」と「やや悪化」を合わせると54.0%(対前年比20.3ポイント減)で、依然厳しい現況ではあるものの、前年に比べ「悪化」の割合は約20ポイント減少し、「やや好転」が15.8%(対前年比10.7ポイント増)と前年を上回っており、厳しい現況の中でも、やや明るい兆しが見える結果となった。

2010年11月 規模別の景気の現状

※グラフ内の()については、前年度までは役員・議員のみが対象の為、役員・議員のみ前年数値を表示しています。

【役員・議員】、【小規模企業】ともに「やや悪化」、「変わらない」と続く。

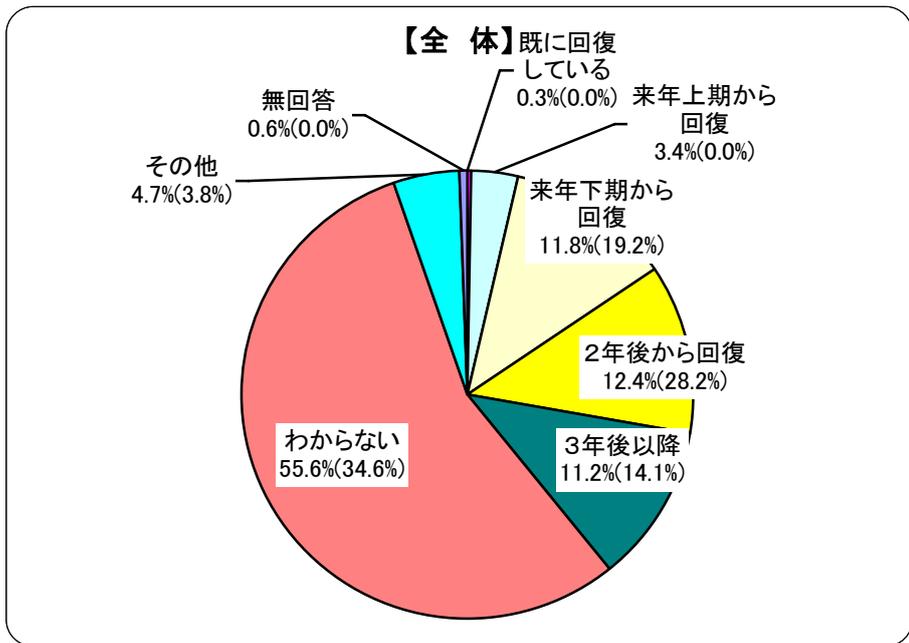


【役員・議員】、【小規模企業】ともに「やや悪化」、「変わらない」と続いたが、次いで【役員・議員】では「やや好転」であったのに対し、【小規模企業】では「かなり悪化」との結果になった。

2011年 景気の回復時期

※グラフ内の()については、前年数値です。

「わからない」が前年に続き55.6%でトップ
次いで「2年後(2012年)から回復」12.4%、「来年(2011年)下期から回復」11.8%

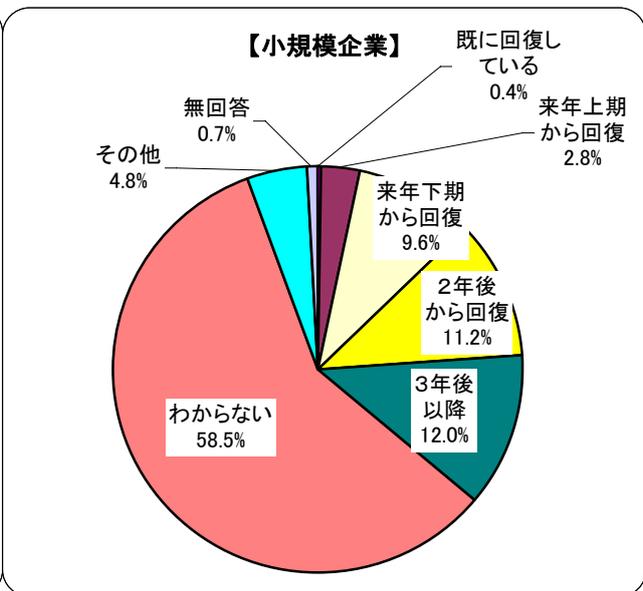
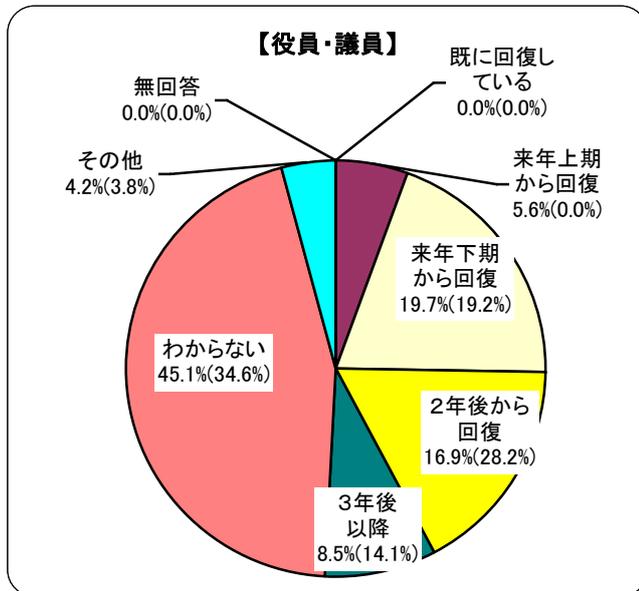


景気の回復時期については、「わからない」が55.6%(対前年比21.0ポイント増)となり、「2年後(2012年)から回復」が12.4%、次いで「来年(2011年)下期から回復」が11.8%、「3年後(2013年)以降」11.2%と続いた。前年に比べ「わからない」が大幅に増加したことから、景気の回復時期の不透明さが強まる予測結果となった。

2011年 規模別の景気の回復時期

※前年度までは役員・議員のみが対象の為、役員・議員のみ前年数値を表示しています。

【役員・議員】、【小規模企業】ともに「わからない」がトップ



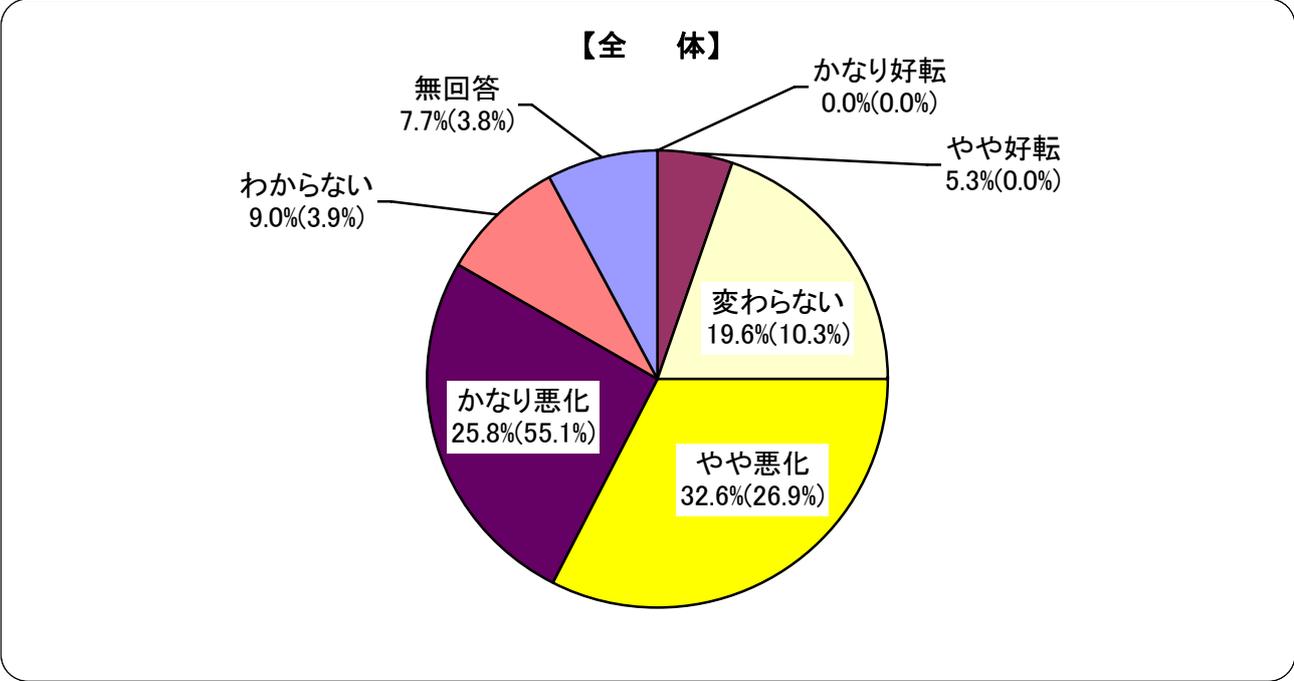
【役員・議員】、【小規模企業】ともに「わからない」が、トップであるが、割合を比較すると圧倒的に【小規模企業】が高くなっている。それに次ぐ回答では【役員・議員】が「来年(2011年)下期から回復」で19.7%に対し、【小規模企業】は「3年後(2013年)以降」で12.0%となっており、【小規模企業】に先行き不透明感が顕著に表れる結果となった。

2011年 産業別動向

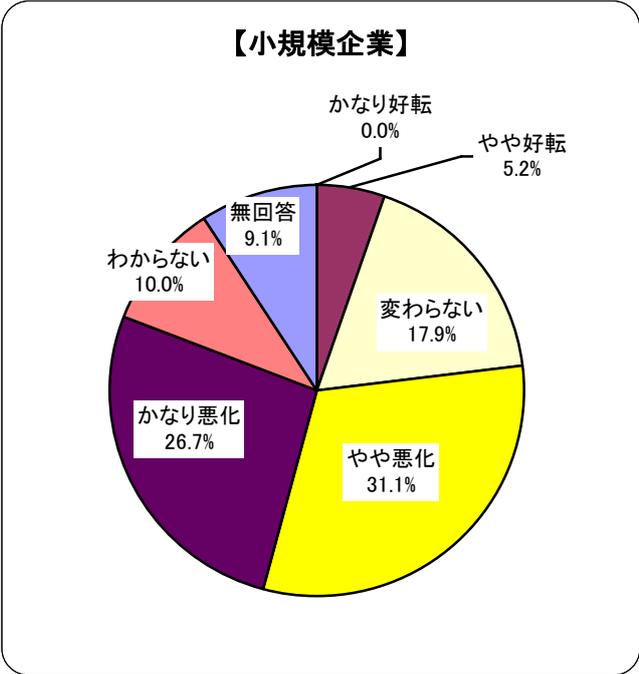
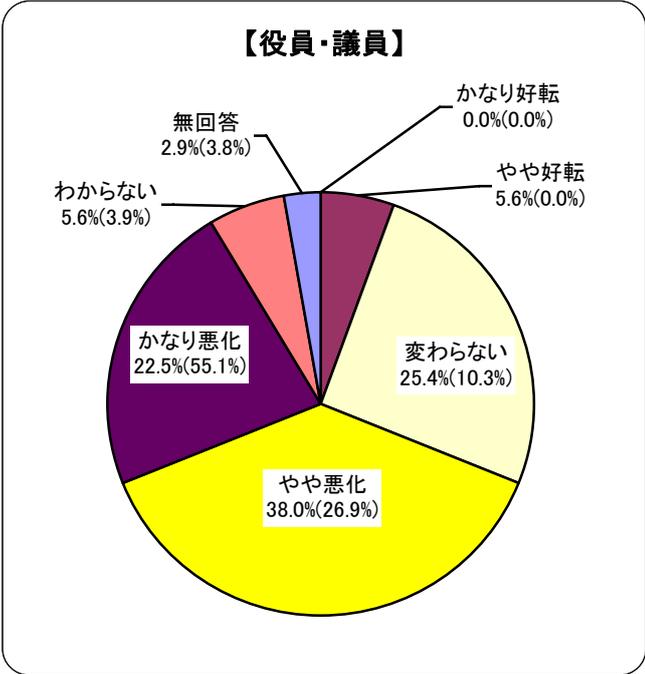
※グラフ内の()については、前年数値です。

産 業 別

建 設 業



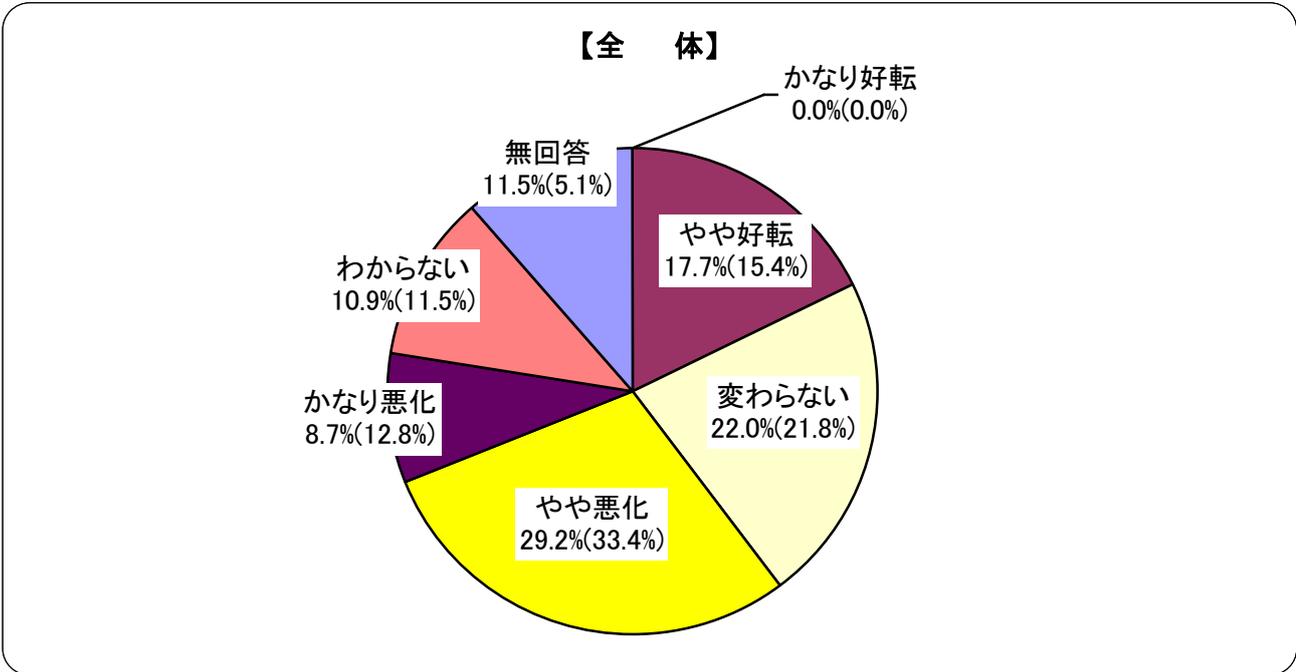
※前年度までは役員・議員のみが対象の為、役員・議員のみ前年数値を表示しています。



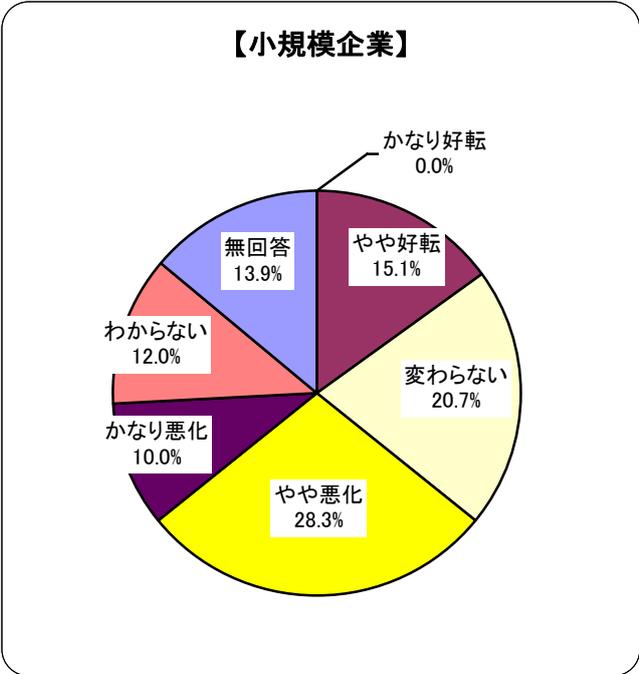
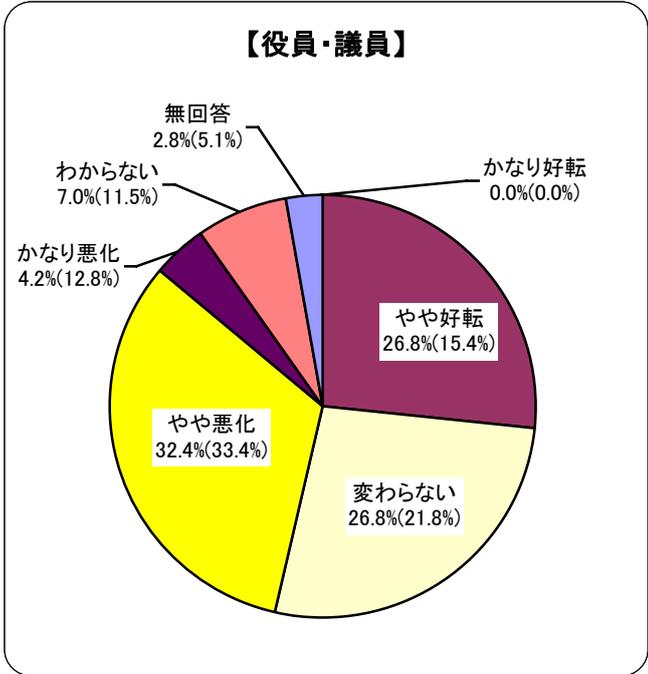
2011年 産業別動向

※グラフ内の()については、前年数値です。

製 造 業



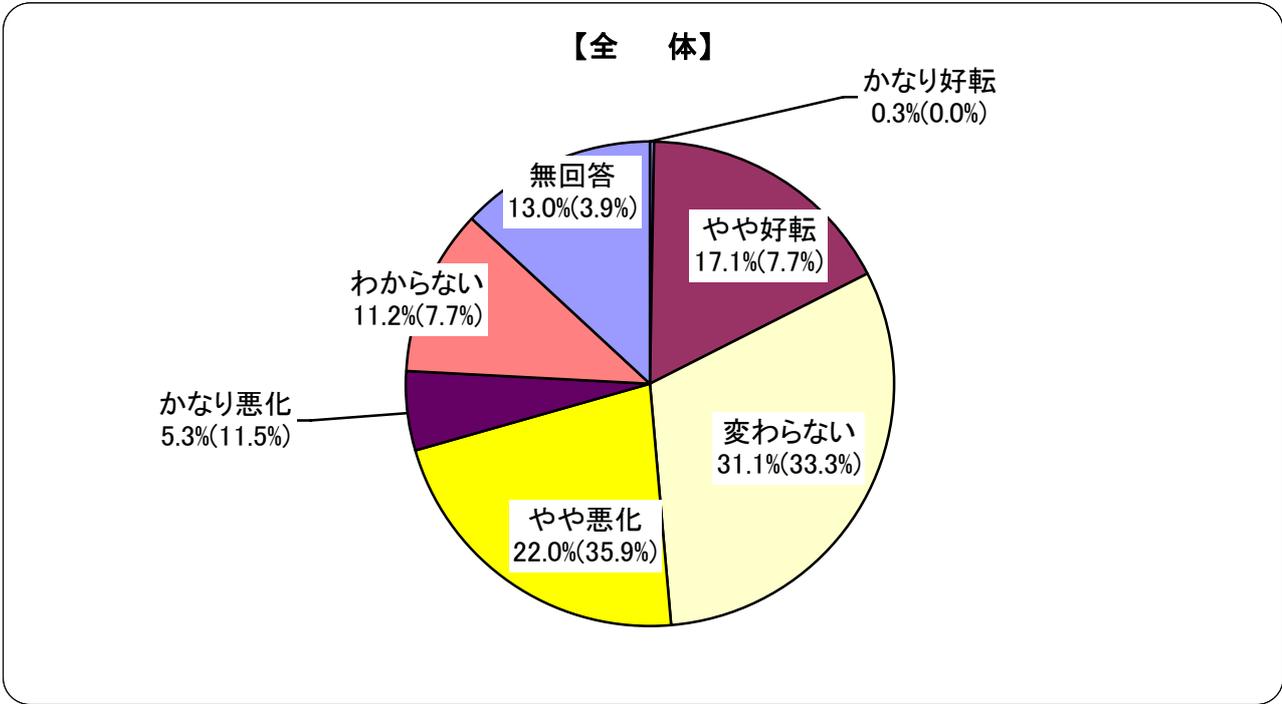
※前年度までは役員・議員のみが対象の為、役員・議員のみ前年数値を表示しています。



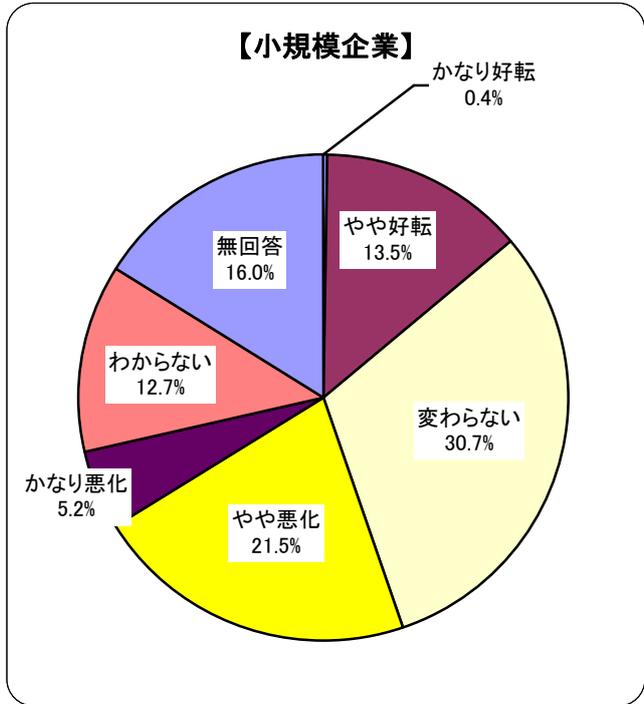
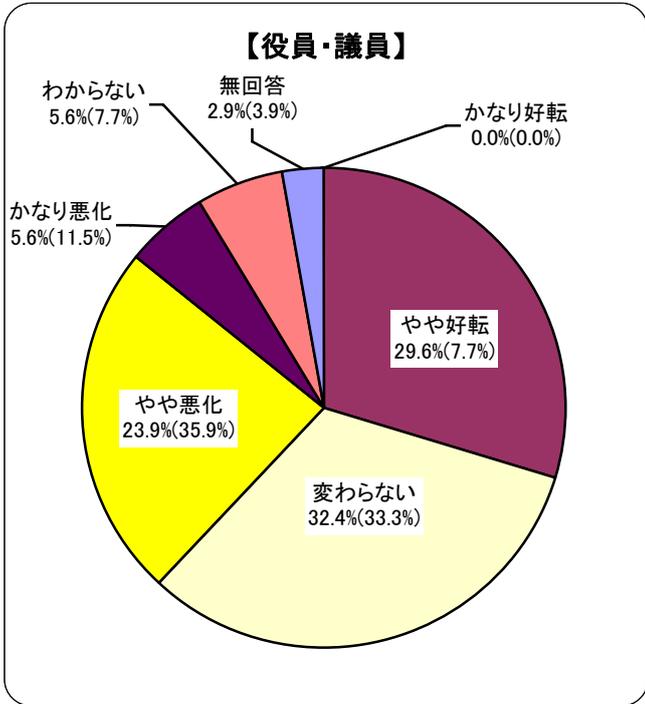
2011年 産業別動向

※グラフ内の()については、前年数値です。

運輸・通信業



※前年度までは役員・議員のみが対象の為、役員・議員のみ前年数値を表示しています。

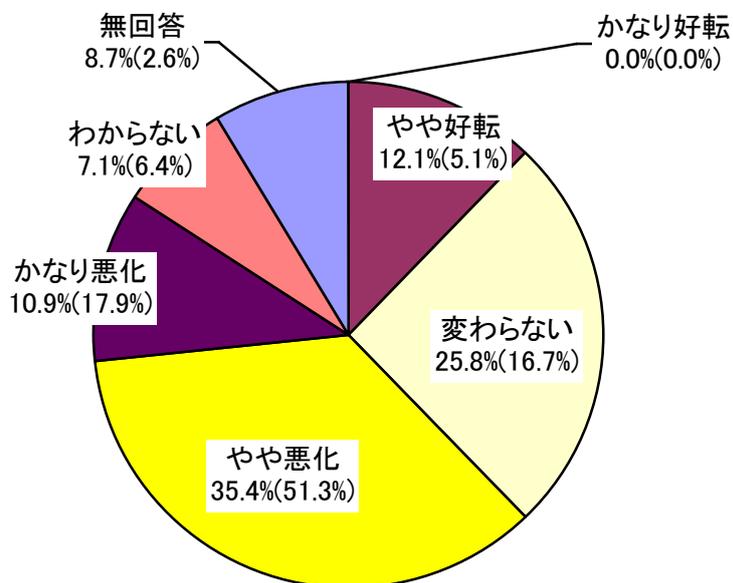


2011年 産業別動向

※グラフ内の()については、前年数値です。

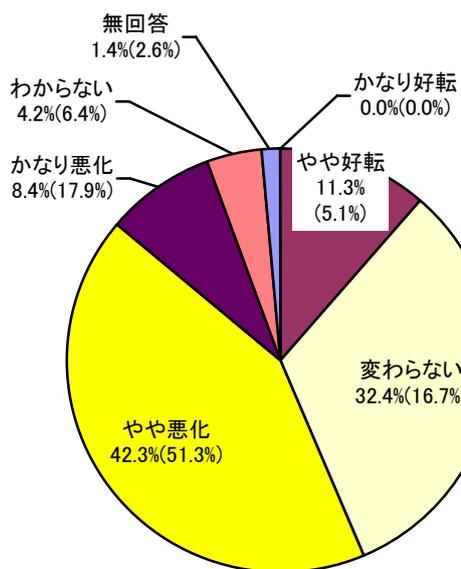
卸売・小売

【全 体】

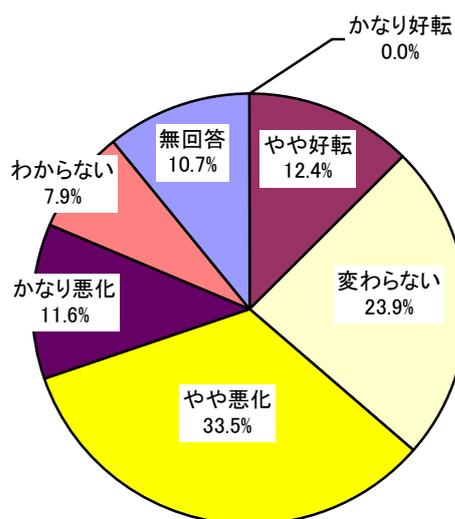


※前年度までは役員・議員のみが対象の為、役員・議員のみ前年数値を表示しています。

【役員・議員】



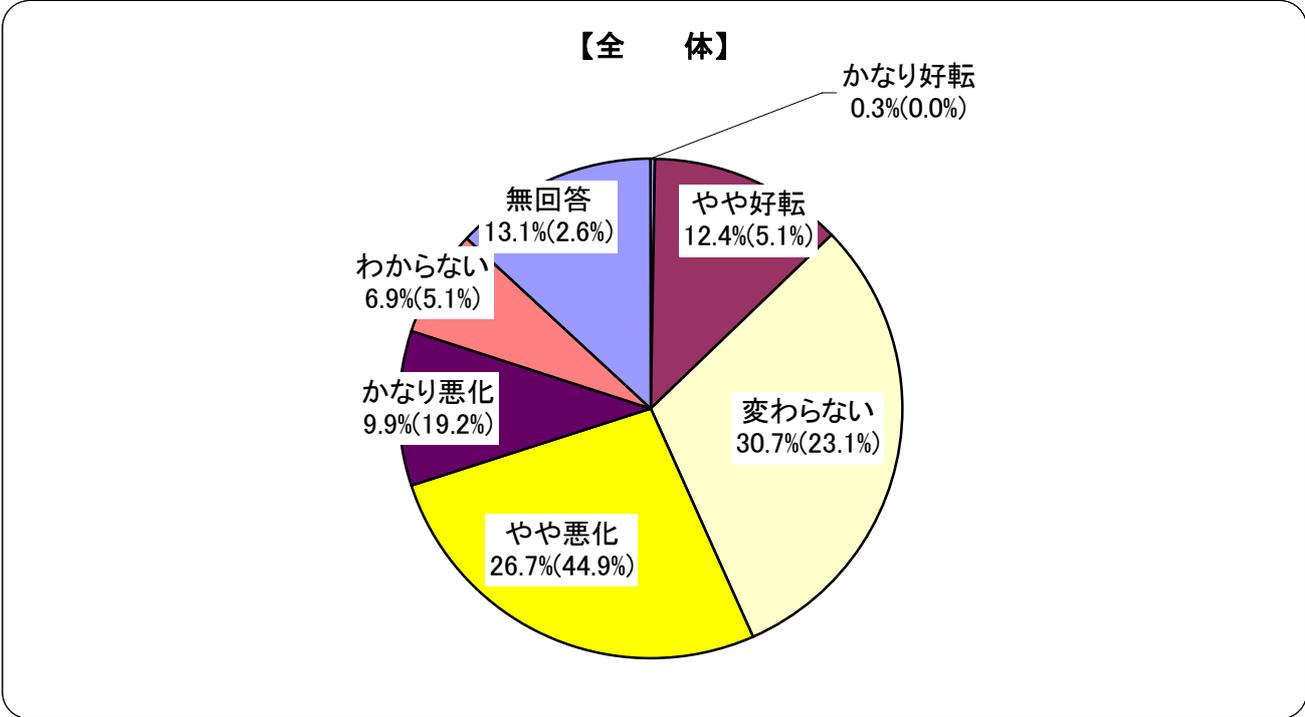
【小規模企業】



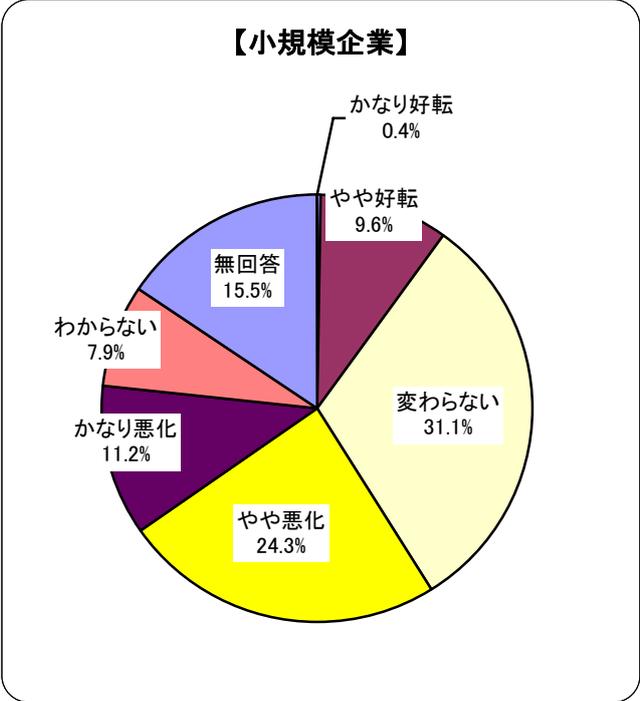
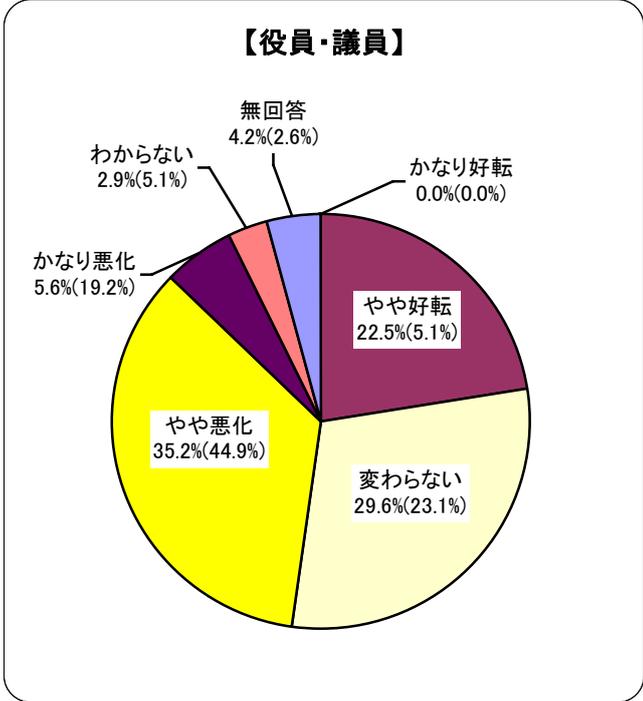
2011年 産業別動向

※グラフ内の()については、前年数値です。

飲食業



※前年度までは役員・議員のみが対象の為、役員・議員のみ前年数値を表示しています。

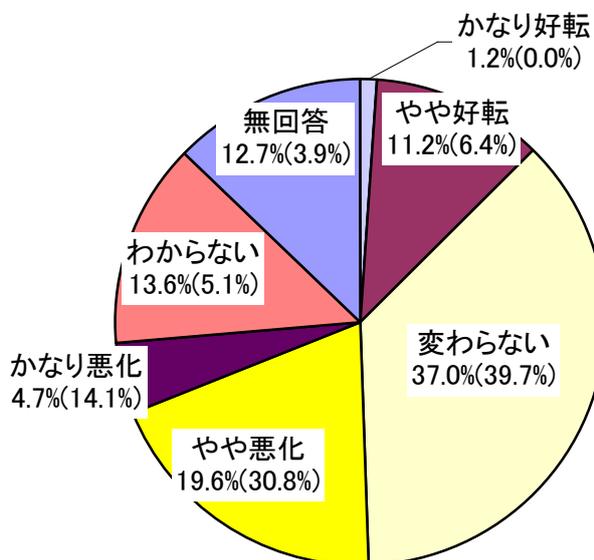


2011年 産業別動向

※グラフ内の()については、前年数値です。

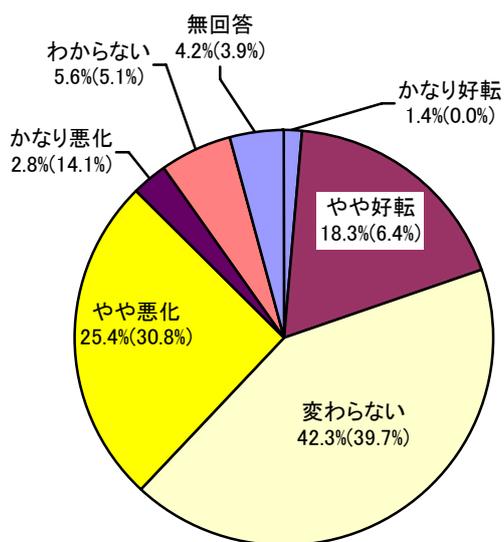
金融・保険業

【全 体】

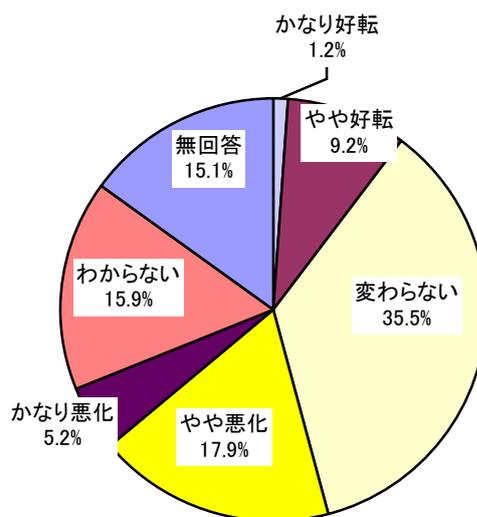


※前年度までは役員・議員のみが対象の為、役員・議員のみ前年数値を表示しています。

【役員・議員】



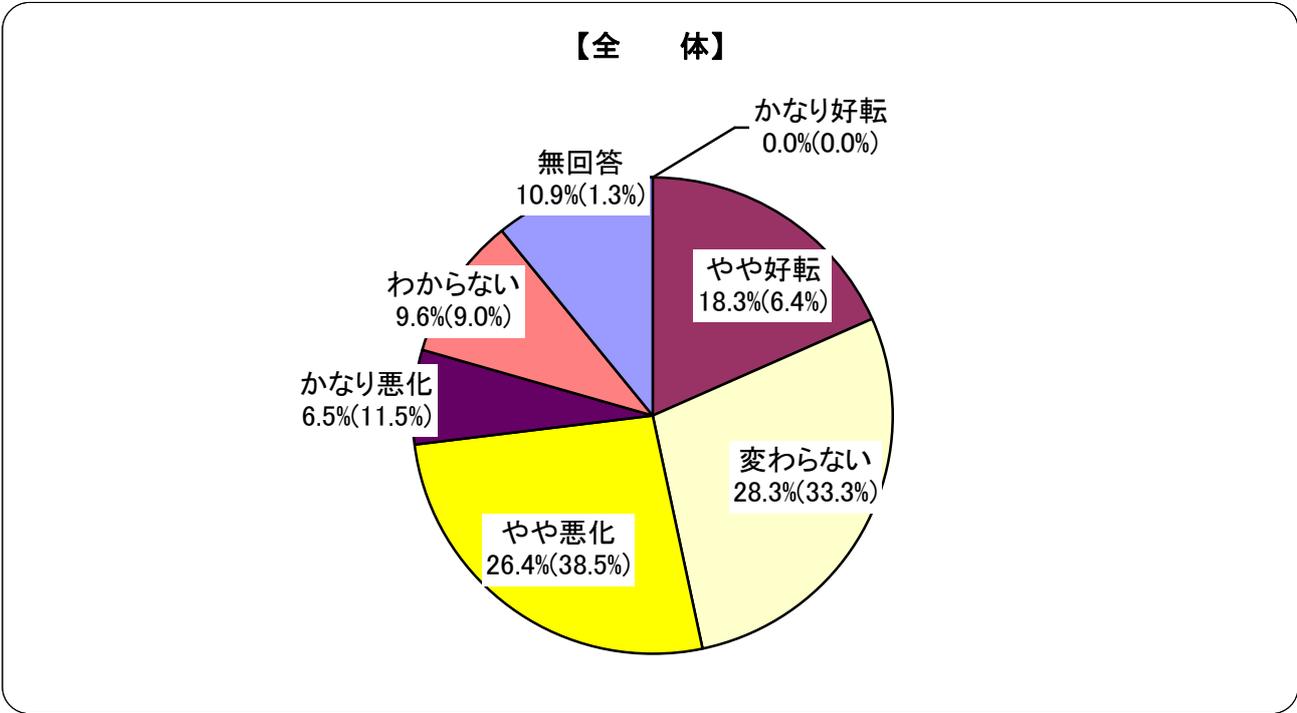
【小規模企業】



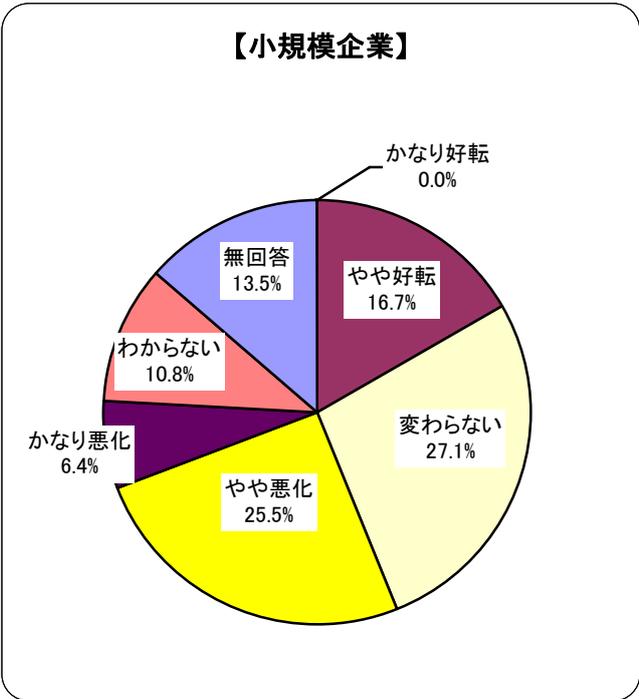
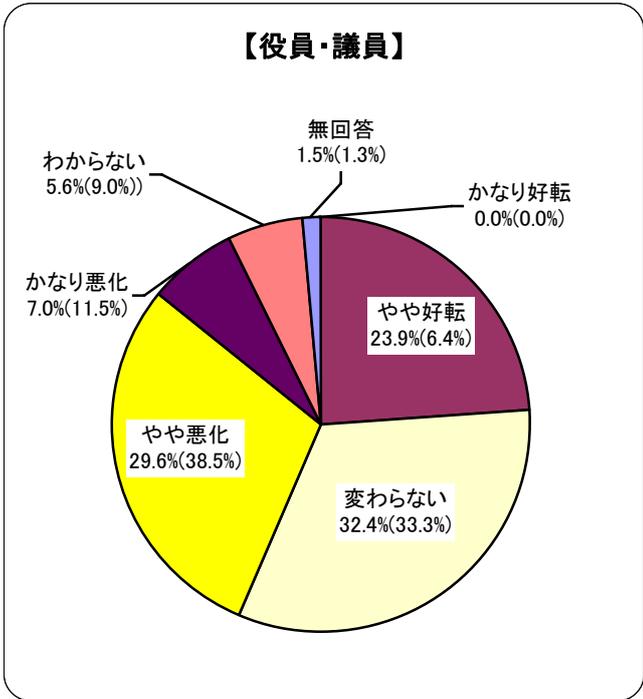
2011年 産業別動向

※グラフ内の()については、前年数値です。

サービス業



※前年度までは役員・議員のみが対象の為、役員・議員のみ前年数値を表示しています。

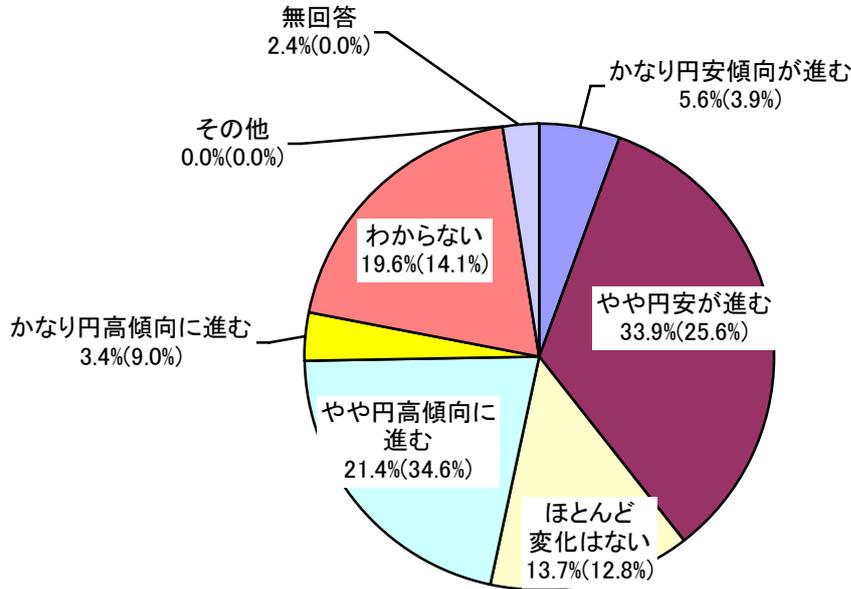


円市場予測

※グラフ内の()については、前年数値です。

「やや円安」は33.9%、「やや円高」が21.4%（「円安」と「円高」で予測は二分）

【全体】

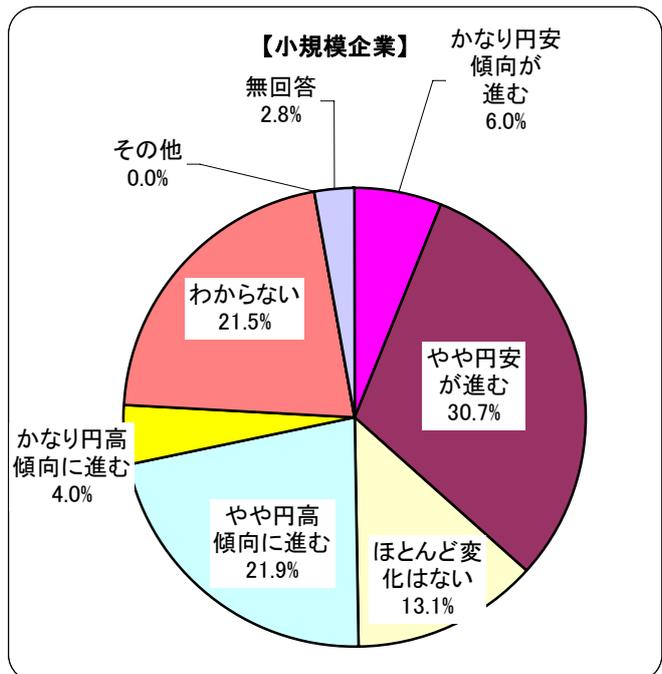
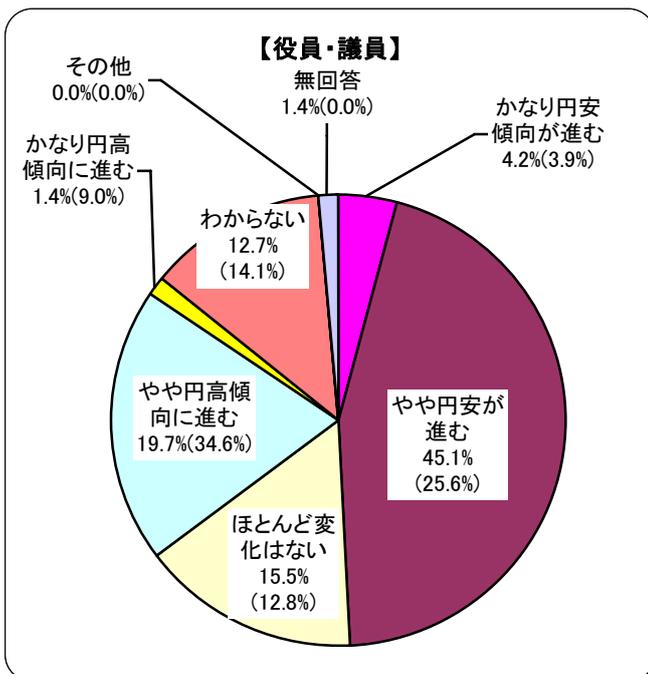


円市場の推移予測は、「やや円安」が33.9%（対前年比8.3ポイント増）、次いで「やや円高」が21.4%（対前年比13.2ポイント減）で、「かなり円安」と「やや円安」を合わせると39.5%、「かなり円高」と「やや円高」そして現在の円高基調を考慮し「ほとんど変化はない」を合わせると38.8%とほぼ同じ割合になり、予測が二分した結果となった。

規模別の円市場予測

※グラフ内の()については、前年度までは役員・議員のみが対象の為、役員・議員のみ前年数値を表示しています。

【役員・議員】、【小規模企業】ともに「やや円安」、「やや円高」と続く。

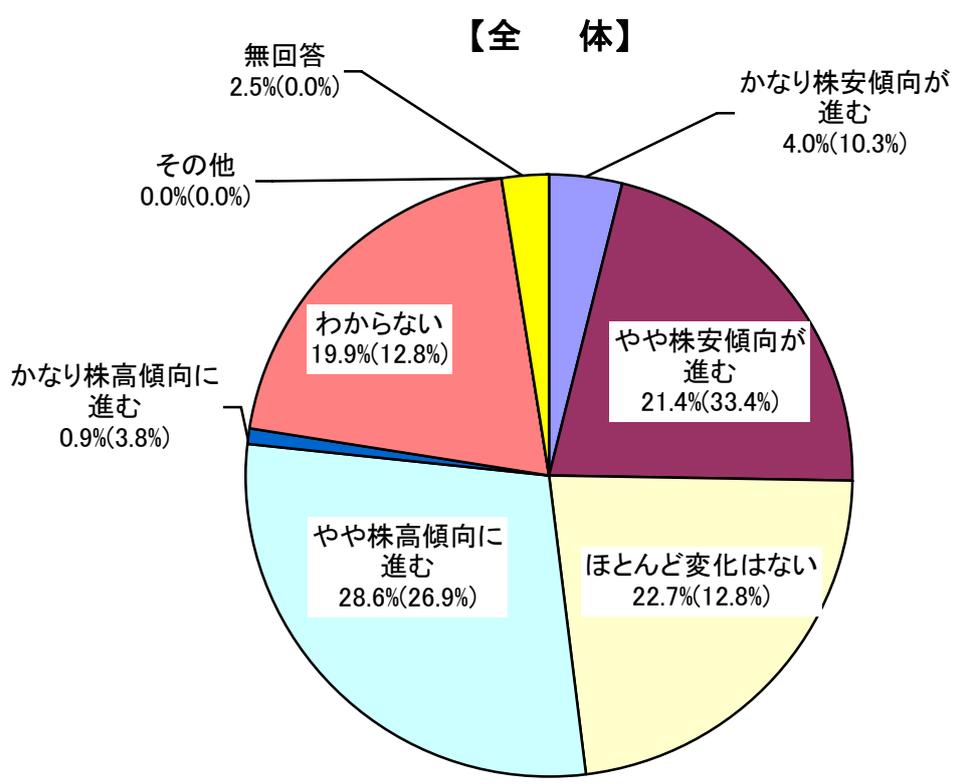


【役員・議員】、【小規模企業】ともに「やや円安」、「やや円高」と続いたが、【役員・議員】は、「かなり円安」と「やや円安」を合わせると49.3%で円安傾向を予測しているが、【小規模企業】では、「かなり円安」、「やや円安」を合わせると36.7%、「かなり円高」と「やや円高」そして現在の円高基調を考慮し「ほとんど変化はない」を合わせると39.0%とほぼ同じ割合になり、【全体】の結果と同じく予測が二分した。

株式市場予測

※グラフ内の()については、前年数値です。

「やや株高」が28.6%、「ほとんど変化はない」は22.7%

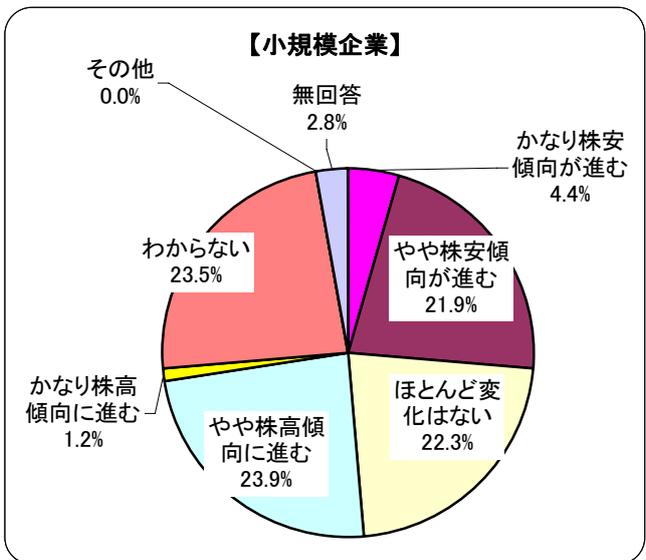
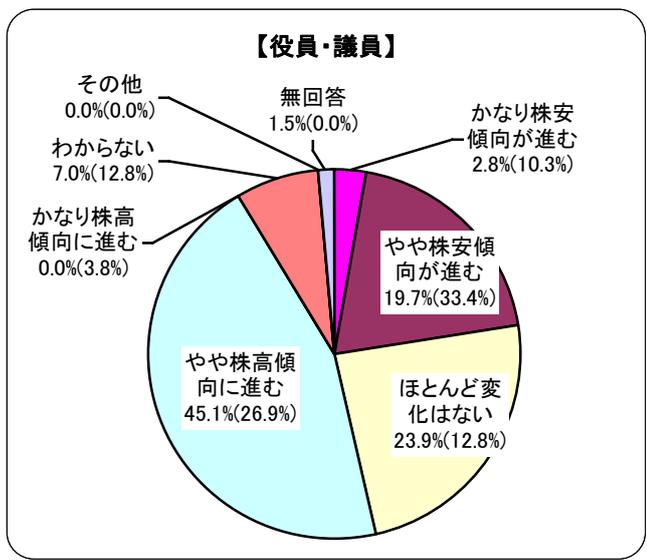


株式市場の推移予測は、「やや株高」が28.6% (対前年比1.7ポイント増)、「ほとんど変化はない」が22.7% (対前年比9.9ポイント増)、次いで「やや株安」の21.4%となり、現在の株安の傾向がやや弱まるとの予測となった。

規模別の株式市場予測

※グラフ内の()については、前年度までは役員・議員のみが対象の為、役員・議員のみ前年数値を表示しています。

【役員・議員】【小規模企業】ともに「やや株高」がトップ

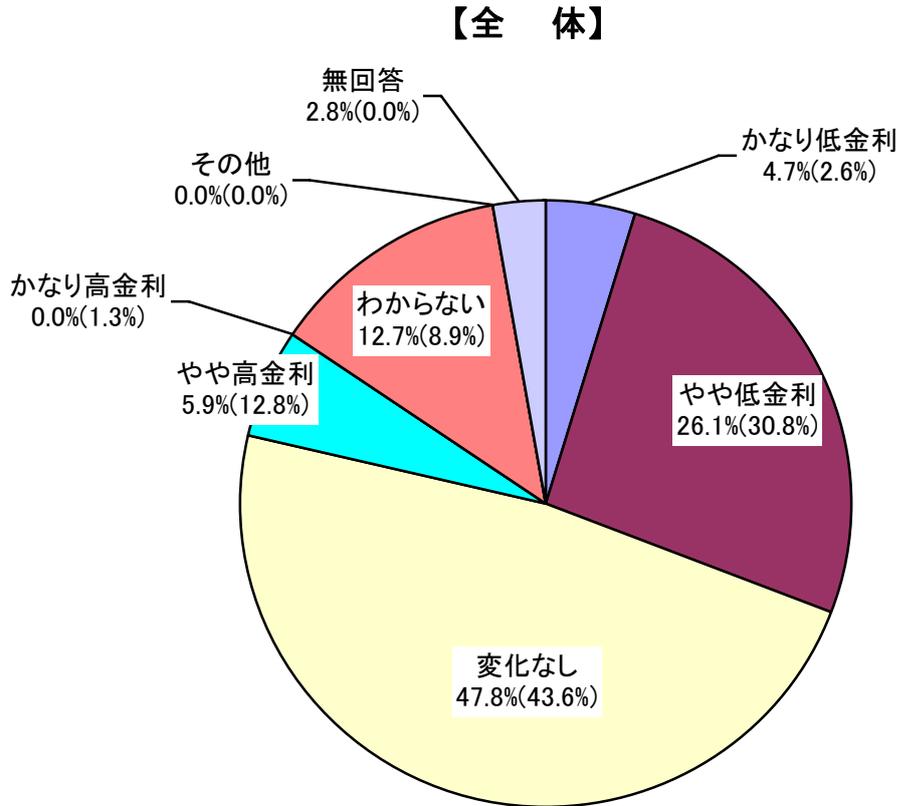


【役員・議員】【小規模企業】ともに「やや株高」がトップであったが、約2倍のポイント差があり、それに続く割合は【役員・議員】は「ほとんど変化がない」、【小規模企業】は「わからない」と続き、【役員・議員】と【小規模企業】の意識に差が生じていることを表す結果となった。

金利予測

※グラフ内の()については、前年数値です。

「変化なし」47.8%、「やや低金利」26.1%

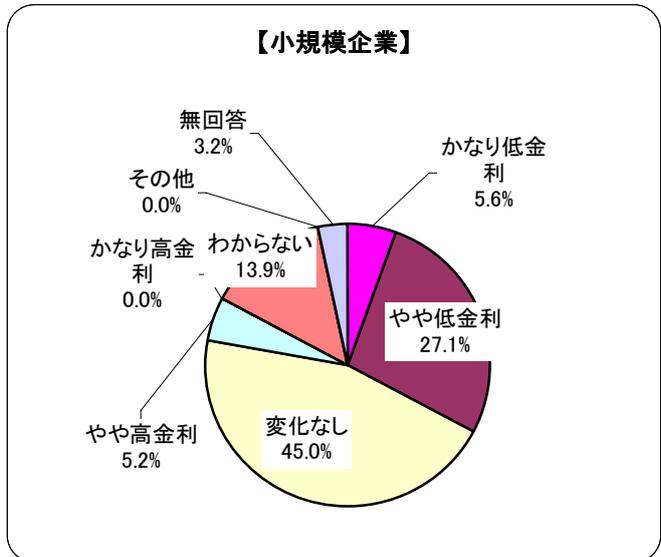
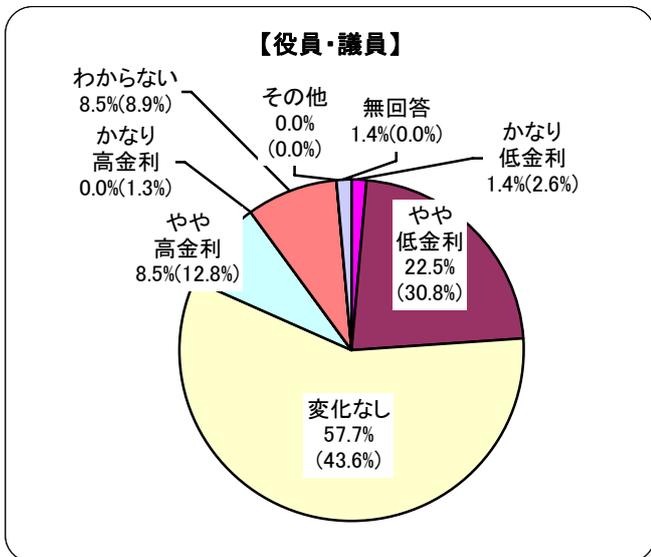


金利の推移予測では、「変化なし」が47.8% (対前年比4.2ポイント増) でトップ、次いで「やや低金利」が26.1% (対前年比4.7ポイント減)、「やや高金利」は5.9% (対前年比6.9ポイント減) と、現在の低金利基調が続く予測となった。

規模別の金利予測

※グラフ内の()については、前年度までは役員・議員のみが対象の為、役員・議員のみ前年数値を表示しています。

【役員・議員】、【小規模企業】ともに「変化なし」がトップ



【役員・議員】、【小規模企業】ともに「変化なし」がトップとなり、それに続く割合も【役員・議員】、【小規模企業】ともに「やや低金利」と続き、【役員・議員】と【小規模企業】ともに低金利の傾向が続くとの意識を表す結果となった。

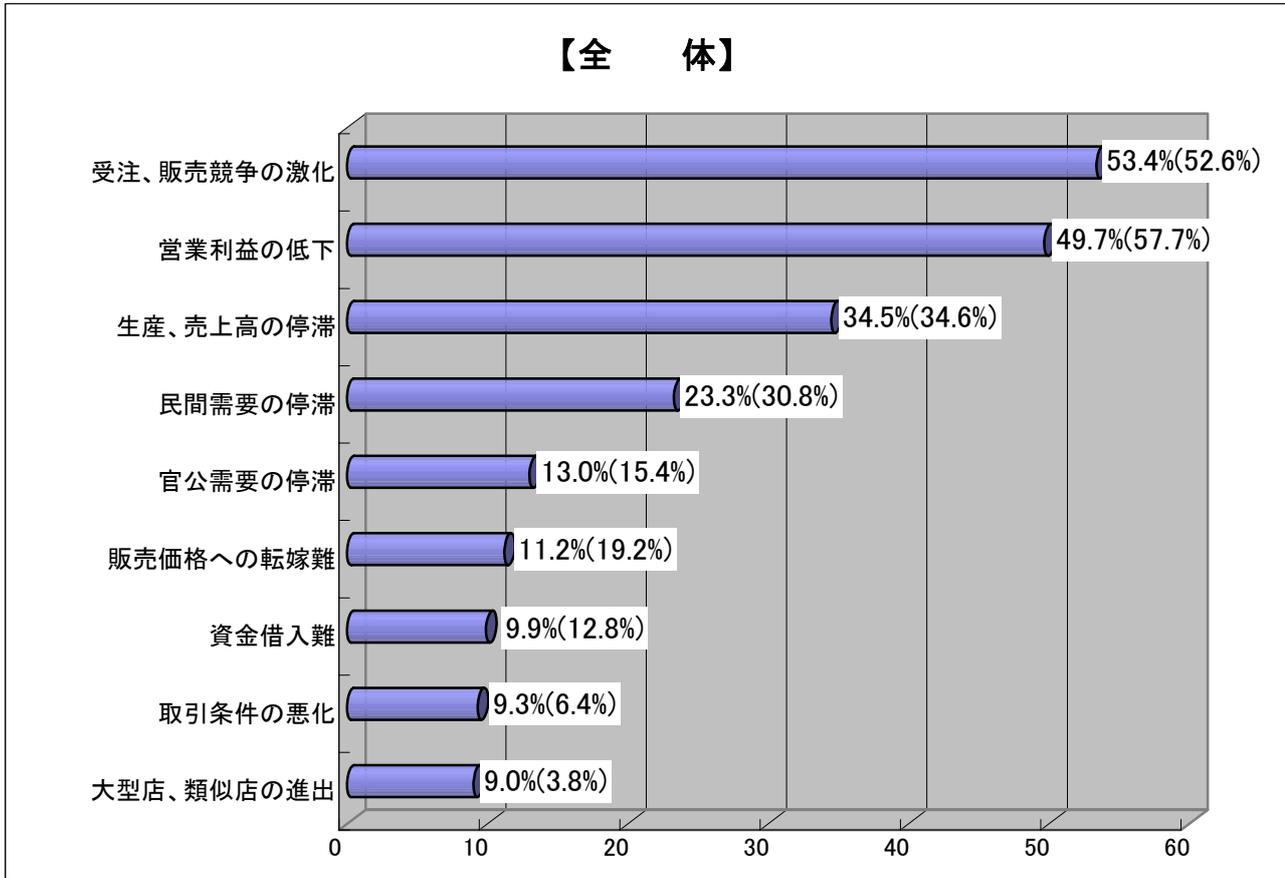
経営上の問題点

※グラフ内の()については、前年数値です。

トップは「販売競争の激化」次いで「利益の低下」、「売上高停滞」

(複数回答)

【全 体】

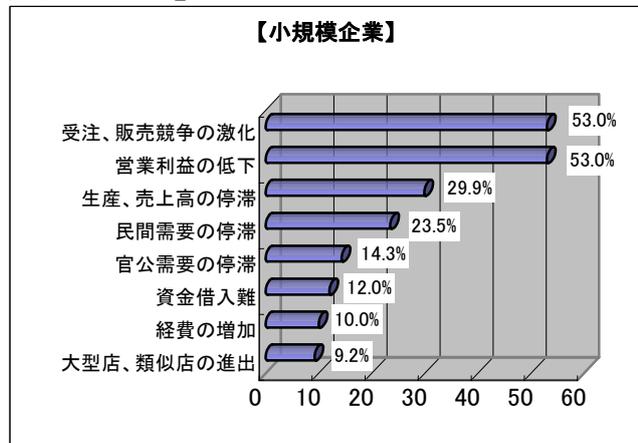
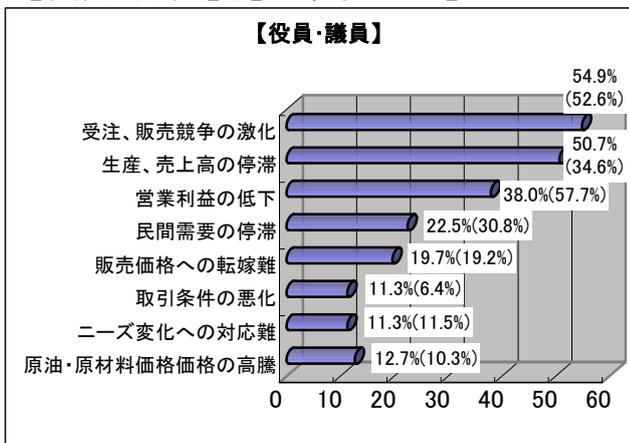


経営上の問題点として最も多かったのは、「受注・販売競争の激化」53.4%（対前年比0.8ポイント減）、次いで前年最も多かった「営業利益の低下」49.7%（対前年比8.0ポイント減）、「売上高停滞」34.5%（対前年比0.1ポイント減）と続く。また、全体で見ると、前年と比較して割合が増加、減少している項目が混在しており、経営上の問題点が多岐にわたっていることを示す結果となった。

規模別の経営上の問題点

※グラフ内の()については、前年度までは役員・議員のみが対象の為、役員・議員のみ前年数値を表示しています。

【役員・議員】、【小規模企業】ともに「販売競争の激化」がトップ



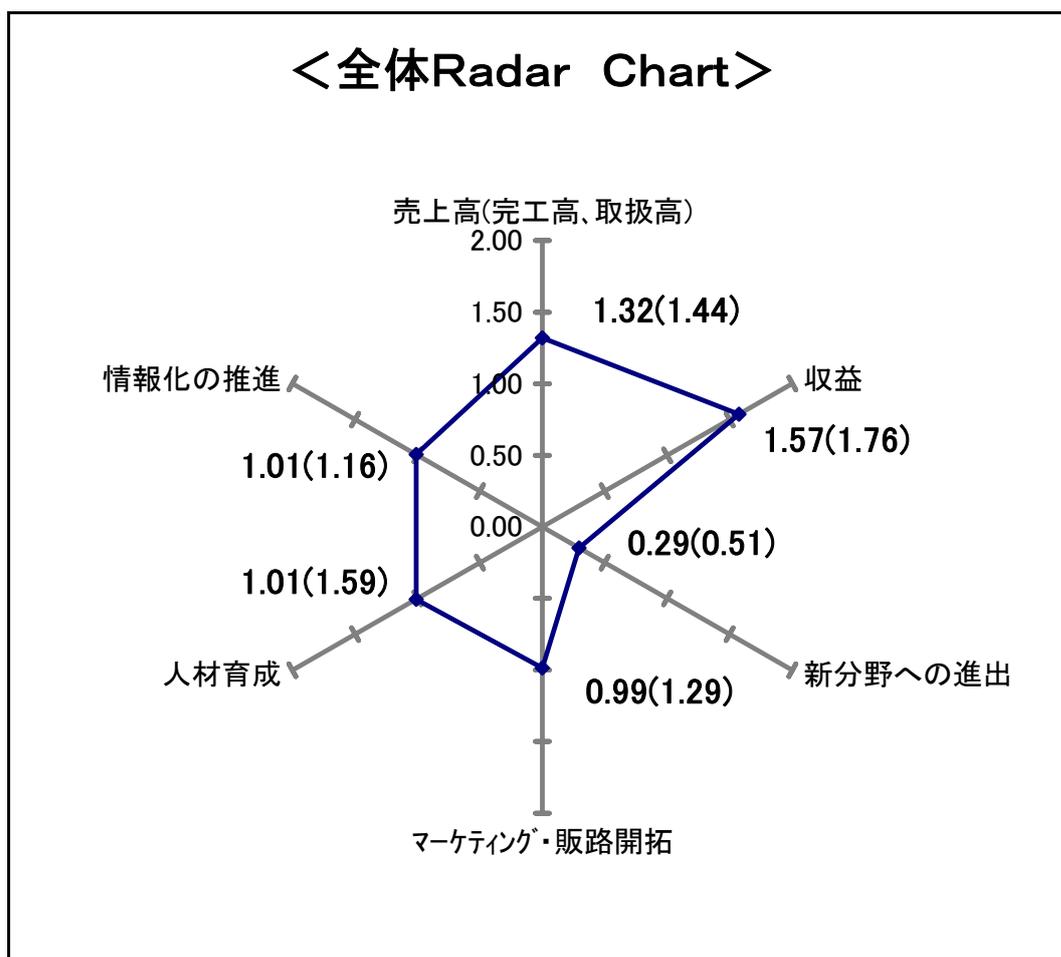
【役員・議員】、【小規模企業】ともに「販売競争の激化」がトップとなり、それに続き、「売上高の停滞」、「営業利益の低下」、「民間需要の停滞」が上位を占め、規模に関係なく抱えている問題は共通していることを表す結果となった。

しかしながら【役員・議員】においては、「営業利益の低下」が3位に対し、【小規模企業】では同率で1位になり、【全体】で見られた「営業利益の低下」の割合減少は、【役員・議員】の動向を反映したものとなった。

経営の重視度

※グラフ内の()については、前年数値です。

全ての項目でポイントが減少するも「収益」と「売上高」重視の傾向が続く
 ～「人材育成」が大幅に減少、「新分野進出」には慎重姿勢～



上のレーダーチャートは、「重視度」をポイント換算し作成したもの。

(※)それによると、2011年における経営の重視度は、全ての項目でポイントが減少するも、「収益」「売上高(完工高、取扱高)」の2つの面で重視ポイントが高く、一方で「人材育成」については前年より0.58ポイント減と重視度が大幅に減少し、「新分野への進出」については、前年同様ポイントは低く、慎重姿勢が窺える。

売上高については「(かなり+やや)重視する」が85.7%(対前年比7.9ポイント減)、収益では「(かなり+やや)重視する」が93.2%(対前年比5.5ポイント減)となった。

「かなり重視する」の比較では、売上高の49.1%に比して、収益は61.2%と当然のことながら「利益効率」を重視する傾向が窺える。

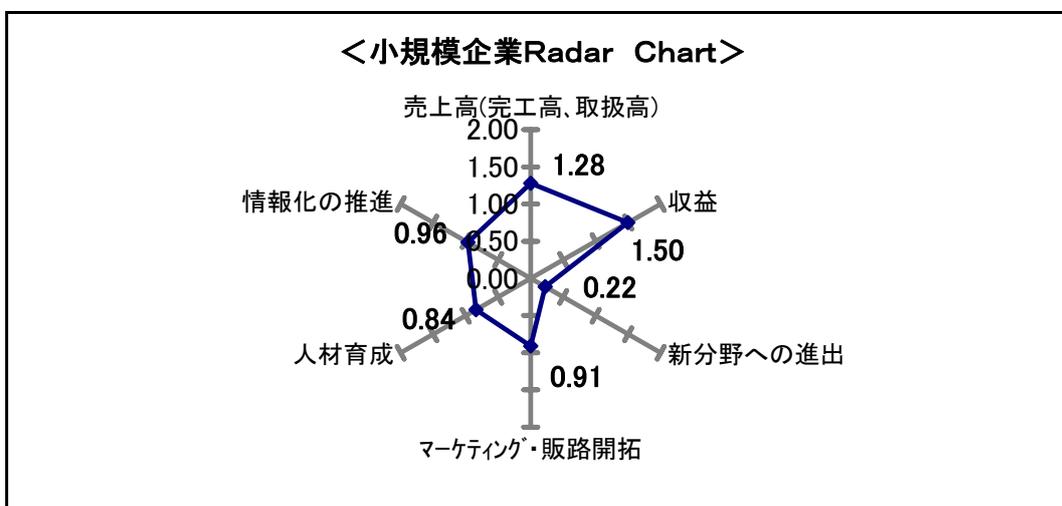
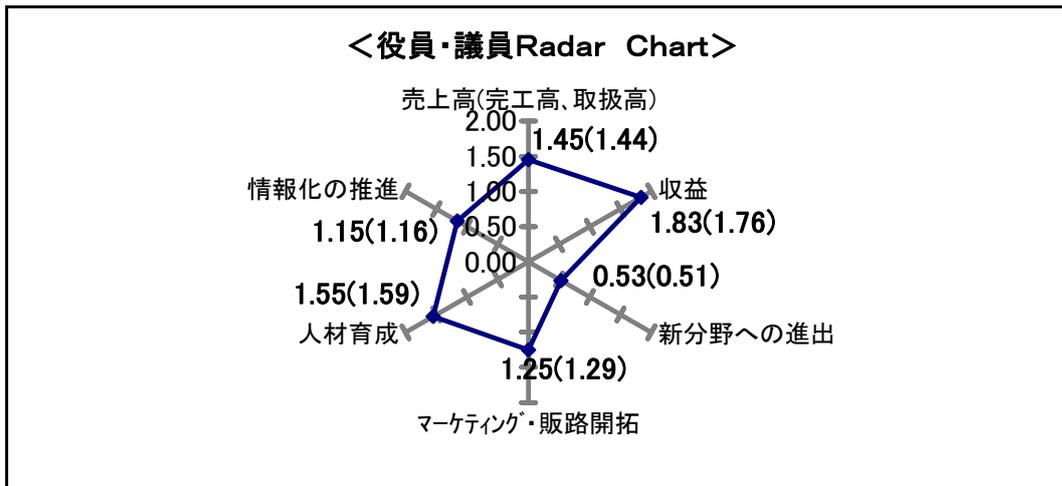
マーケティング・販路開拓については、「(かなり+やや)重視する」が73.6%(対前年比17.4ポイント減)、人材育成では「(かなり+やや)重視する」が73.9%(対前年比21.0ポイント減)、情報化の推進は、「(かなり+やや)重視する」が78.0%(対前年比11.7ポイント減)という結果であった。

※ 「かなり重視」をプラス2、「やや重視」をプラス1、「重視しない」をマイナス1としてトータルポイントを算出し、総回答から「わからない」と回答した人数を引いた数で割ったもの

規模別の経営上の重視度

※グラフ内の()については、前年度までは役員・議員のみが対象の為、役員・議員のみ前年数値を表示しています。

【役員・議員】、【小規模企業】ともに「収益」がトップ



上のレーダーチャートは、規模別に「重視度」をポイント換算し作成したもの。
 (※)2011年における経営の重視度は、【役員・議員】、【小規模企業】ともに「収益」がトップとなったが、それ以外はポイント、順位ともに分かれる結果となった。特に【役員・議員】で2番目に高かった「人材育成」は【小規模企業】では5番目となっており、社員教育や後継者育成の視点で規模別における経営上の重視度が大きく分かれる結果となった。

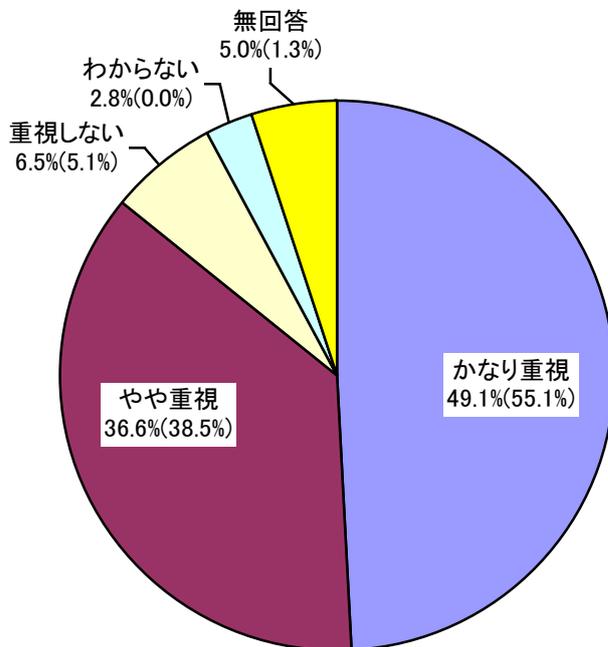
※ 「かなり重視」をプラス2、「やや重視」をプラス1、「重視しない」をマイナス1としてトータルポイントを算出し、総回答から「わからない」と回答した人数を引いた数で割ったもの

経営の重視点

※グラフ内の()については、前年数値です。

<売上高>「かなり重視」49.1%

【全 体】

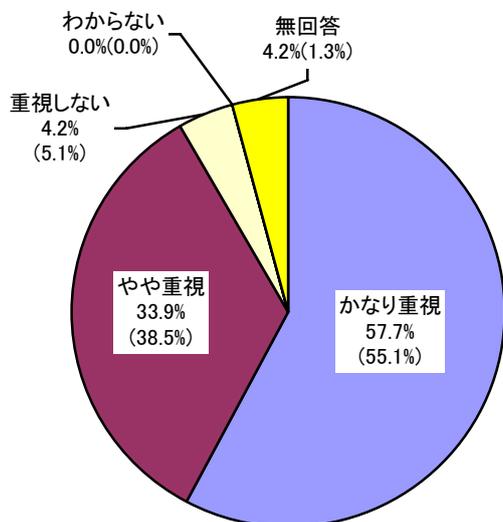


規模別の経営上の重視点

※グラフ内の()については、前年度までは役員・議員のみが対象の為、役員・議員のみ前年数値を表示しています。

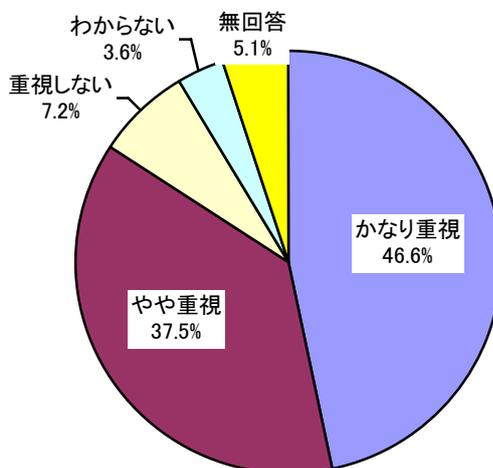
<売上高>「かなり重視」57.7%

【役員・議員】



<売上高>「かなり重視」46.6%

【小規模企業】

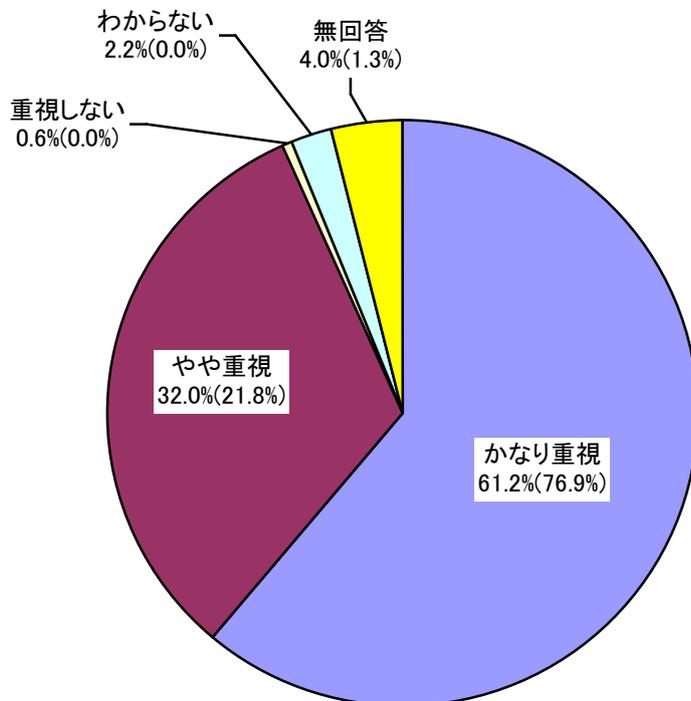


経営の重視点

※グラフ内の()については、前年数値です。

＜収益＞「かなり重視」61.2%

【全 体】

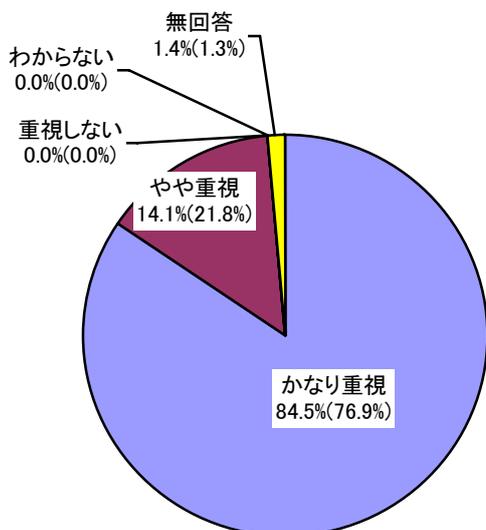


規模別の経営上の重視点

※グラフ内の()については、前年度までは役員・議員のみが対象の為、役員・議員のみ前年数値を表示しています。

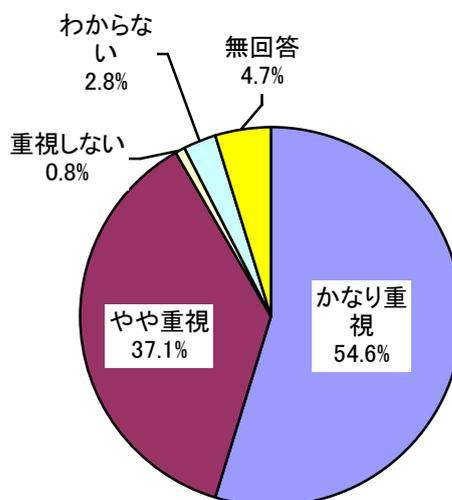
＜収益＞「かなり重視」84.5%

【役員・議員】



＜収益＞「かなり重視」54.6%

【小規模企業】

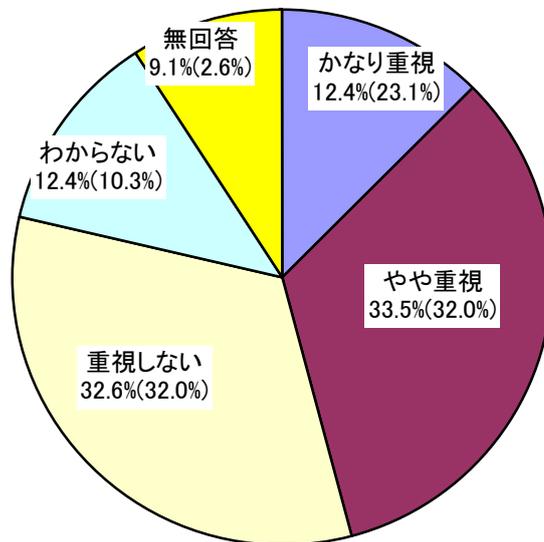


経営の重視点

※グラフ内の()については、前年数値です。

<新分野への進出>「やや重視」33.5%

【全 体】

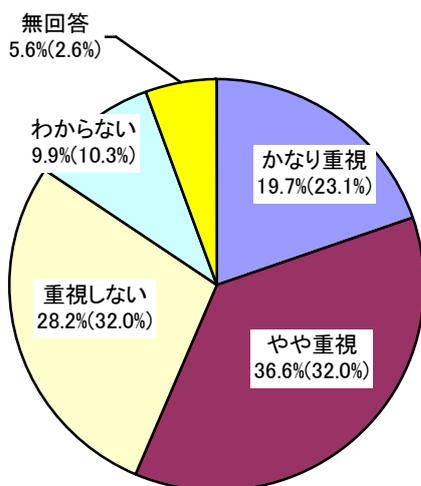


規模別の経営上の重視点

※グラフ内の()については、前年度までは役員・議員のみが対象の為、役員・議員のみ前年数値を表示しています。

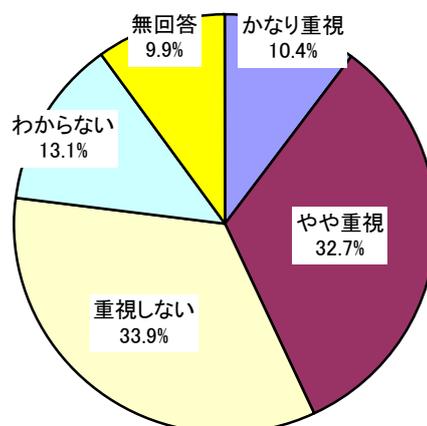
<新分野への進出>「やや重視」36.6%

【役員・議員】



<新分野への進出>「重視しない」33.9%

【小規模企業】

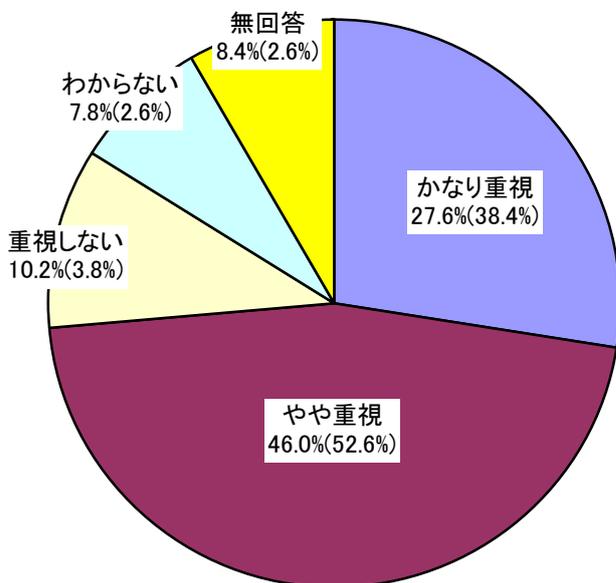


経営の重視点

※グラフ内の()については、前年数値です。

<マーケティング・販路開拓>「やや重視」46.0%

【全 体】



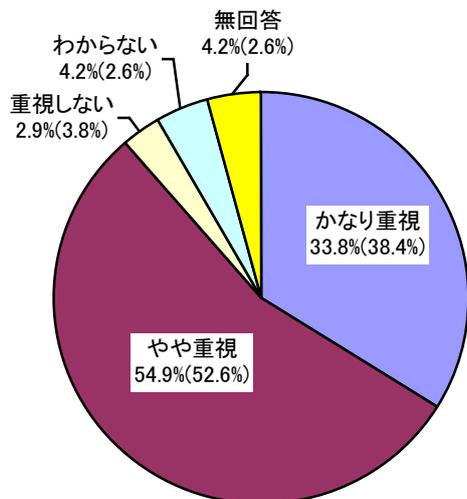
規模別の経営上の重視点

※グラフ内の()については、前年度までは役員・議員のみが対象の為、役員・議員のみ前年数値を表示しています。

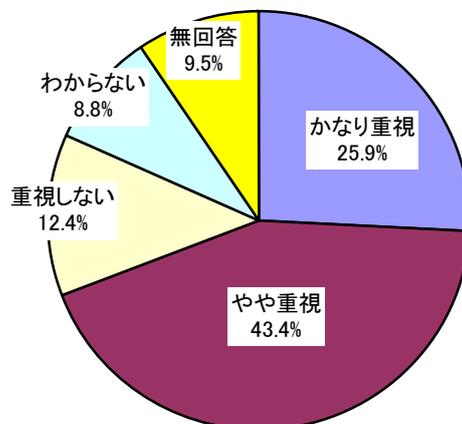
<マーケティング・販路開拓>
「やや重視」54.9%

<マーケティング・販路開拓>
「やや重視」43.4%

【役員・議員】



【小規模企業】

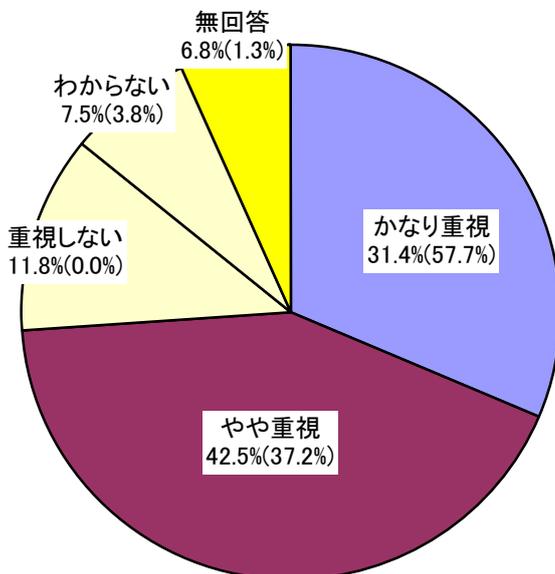


経営の重視点

※グラフ内の()については、前年数値です。

<人材育成>「やや重視」42.5%

【全 体】

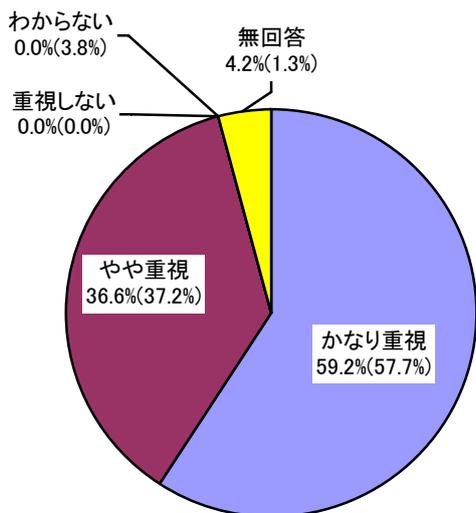


規模別の経営上の重視点

※グラフ内の()については、前年度までは役員・議員のみが対象の為、役員・議員のみ前年数値を表示しています。

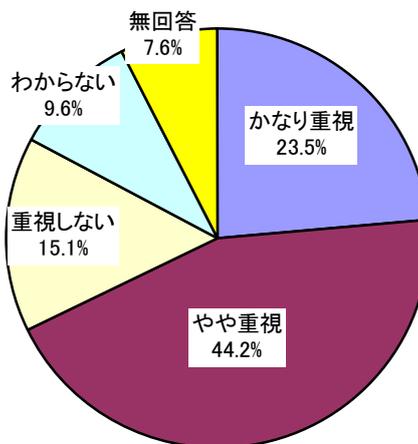
<人材育成>「かなり重視」59.2%

【役員・議員】



<人材育成>「やや重視」44.2%

【小規模企業】

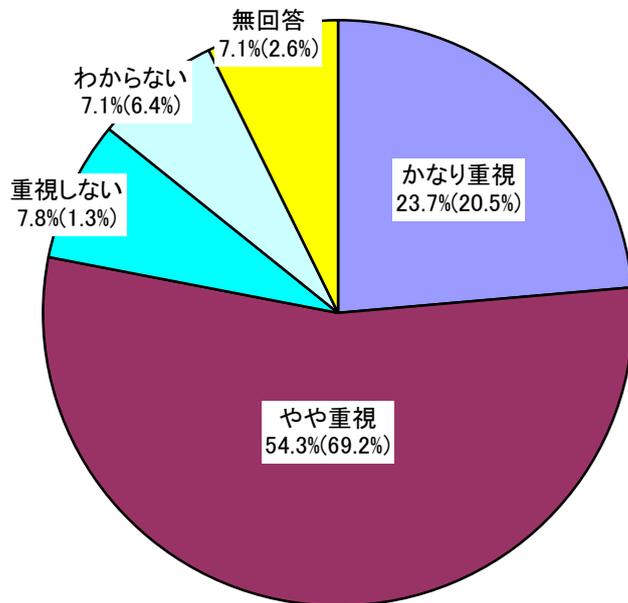


経営の重視点

※グラフ内の()については、前年数値です。

＜情報化の推進＞「やや重視」54.3%

【全 体】

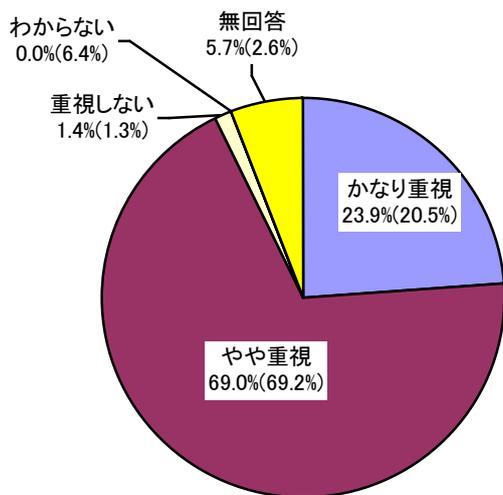


規模別の経営上の重視点

※グラフ内の()については、前年度までは役員・議員のみが対象の為、役員・議員のみ前年数値を表示しています。

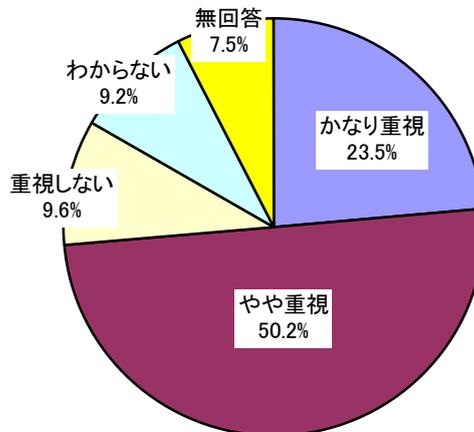
＜情報化の推進＞「やや重視」69.0%

【役員・議員】



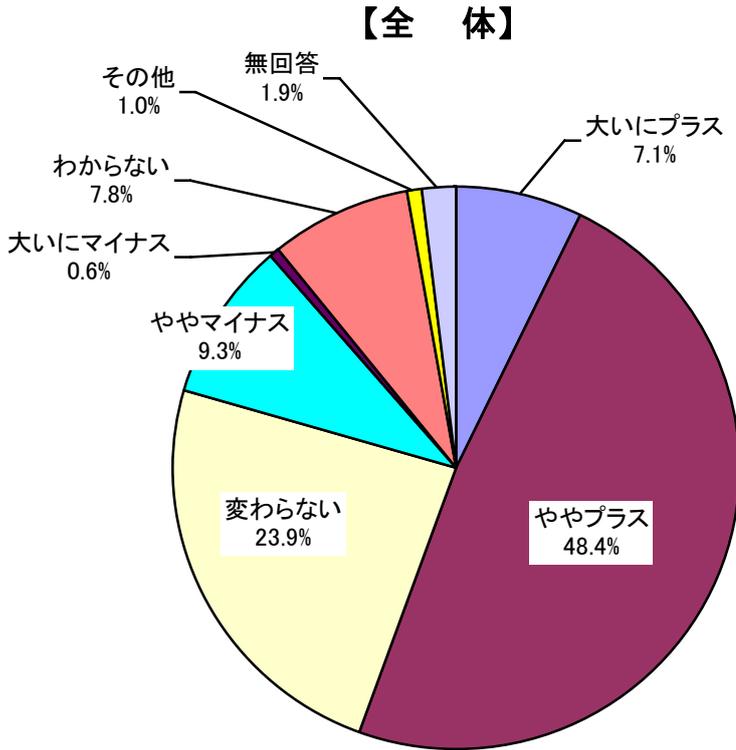
＜情報化の推進＞「やや重視」50.2%

【小規模企業】



九州新幹線全線開業に伴う経済効果

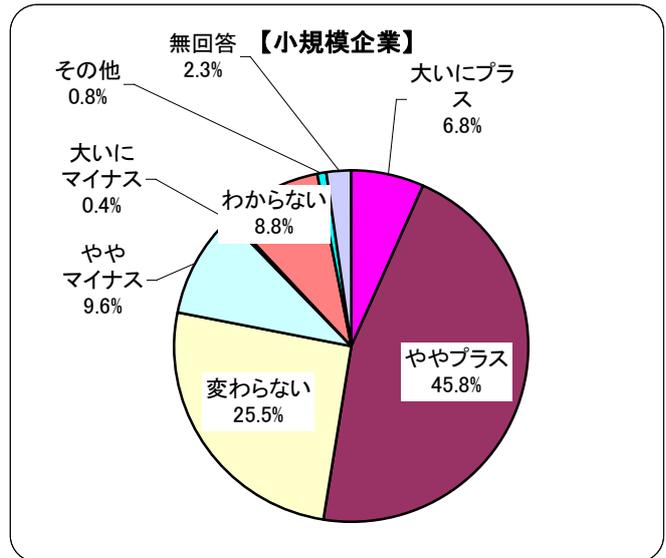
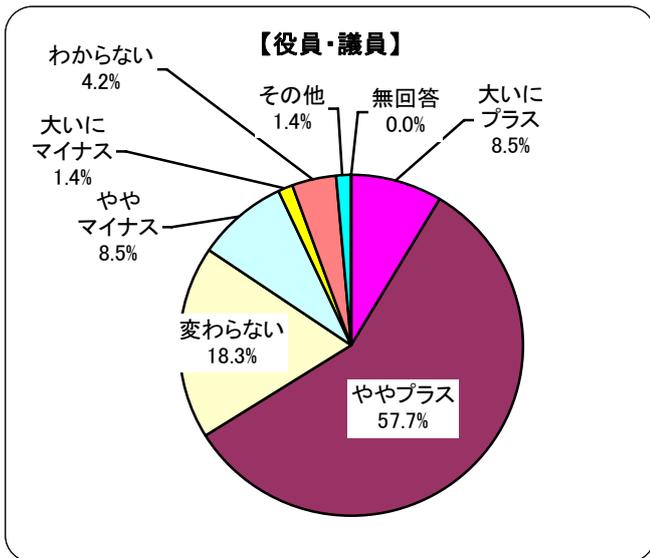
「ややプラス」48.4%、「変わらない」23.9%



来年3月の九州新幹線全線開業に伴う経済効果では、「ややプラス」が48.4%でトップ、次いで「変わらない」が23.9%、「ややマイナス」が9.3%、「大いにプラス」が7.1%という結果となった。
 新幹線全線開業に伴う経済効果が、わずかではあるがプラス方向への期待という予測となった。

規模別の九州新幹線全線開業

【役員・議員】、【小規模企業】ともに「ややプラス」がトップ



【役員・議員】、【小規模企業】ともに「ややプラス」、「変わらない」と続き、「(大いに) + (やや)プラス」の割合が50%を超える結果となり、規模別に関係なく、新幹線開業が何らかの形で地元経済にプラスの効果を与える予測となった。

その一方で、【役員・議員】においては「プラス」の割合が66%を超えているのに対し、【小規模企業】においては52.6%にとどまり、「変わらない」の割合が25.5%と全体の4分の1を占める結果となった。

円市場

- Q 4 現在（2010年11月上旬）の為替水準を基準に、2011年の円市場の見通しについて、どのように予測されますか。
該当する番号を1つだけ○でお囲み下さい。

※参考(終値ベース、11月1日－5日)	始値	高値	安値	終値
東京外国為替 円(1ドル=円)	80.29	81.47	80.22	81.25

- (1) かなり円安傾向が進む (2) やや円安傾向が進む
(3) ほとんど変化はない (4) やや円高傾向に進む
(5) かなり円高傾向に進む (6) わからない
(7) その他 ()

株式市場

- Q 5 2011年の株式市場の見通しについて、現在（2010年11月上旬）の株式市場の水準を基準に、どのように予測されますか。
該当する番号を1つだけ○でお囲み下さい。

※参考(終値ベース、11月1日－5日)	始値	高値	安値	終値
国内株式 日経平均(円)	9,166.85	9,680.68	9,123.62	9,625.99

- (1) かなり株安傾向が進む (2) やや株安傾向が進む
(3) ほとんど変化はない (4) やや株高傾向に進む
(5) かなり株高傾向に進む (6) わからない
(7) その他 ()

金利

- Q 6 2011年における金利の見通しについて、今年（2010年11月上旬）の金利水準を基準に、どのように予測されますか。
該当する番号を1つだけ○でお囲み下さい。

- (1) かなり低金利傾向が進む (2) やや低金利傾向が進む
(3) ほとんど変化はない (4) やや高金利傾向に進む
(5) かなり高金利傾向に進む (6) わからない
(7) その他 ()

経営の問題点

- Q 7 2011年における貴社の経営上の問題点を、どのように予測されますか。
該当する番号を○でお囲み下さい。（3項目以内）

- (1) 受注、販売競争の激化 (2) 生産、売上高の停滞
(3) 営業利益の低下 (4) 民間需要の停滞
(5) 経費の増加 (6) 販売価格への転嫁難
(7) 官公需要の停滞 (8) 大型店、類似店の進出
(9) ニーズ変化への対応難 (10) 原油・原材料価格の高騰
(11) 為替レート、株価の変動 (12) 資金借入難
(13) 取引条件の悪化 (14) 情報化への対応難
(15) 従業員の確保難 (16) 事業承継難（後継者不足）
(17) その他 ()

経営の重視点

Q 8 2011年に貴社の経営上、重視される点についてどのように予測されますか。なお、本問では回答集約の都合上、選択肢を下記の6項目に限定させて頂いております。該当の□欄にレ印をお付け下さい。

	① かなり重視する	② やや重視する	③ 重視しない	④ わからない
売上高(完工高、取扱高)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
収 益	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
新分野への進出	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
マーケティング、販路開拓	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
人 材 育 成	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
情報化の推進	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(※追加調査)

九州新幹線全線開業について

Q 9 2011年3月の九州新幹線全線開業に伴う経済効果について、どのように予測されますか。該当する番号を1つだけ○でお囲み下さい。

- | | |
|-------------|------------|
| (1) 大いにプラス | (2) ややプラス |
| (3) 変わらない | (4) ややマイナス |
| (5) 大いにマイナス | (6) わからない |
| (7) その他 () | |

コ メ ン ト

熊本経済の発展に向けて、必要なこと、期待すること、また望まれる経済対策などについて、ご意見、ご提言等ございましたら、ご自由にご記入願います。

ご協力ありがとうございました。

熊本商工会議所 会員サービス部 情報調査課
TEL 096-354-6688 FAX 0120-268-343